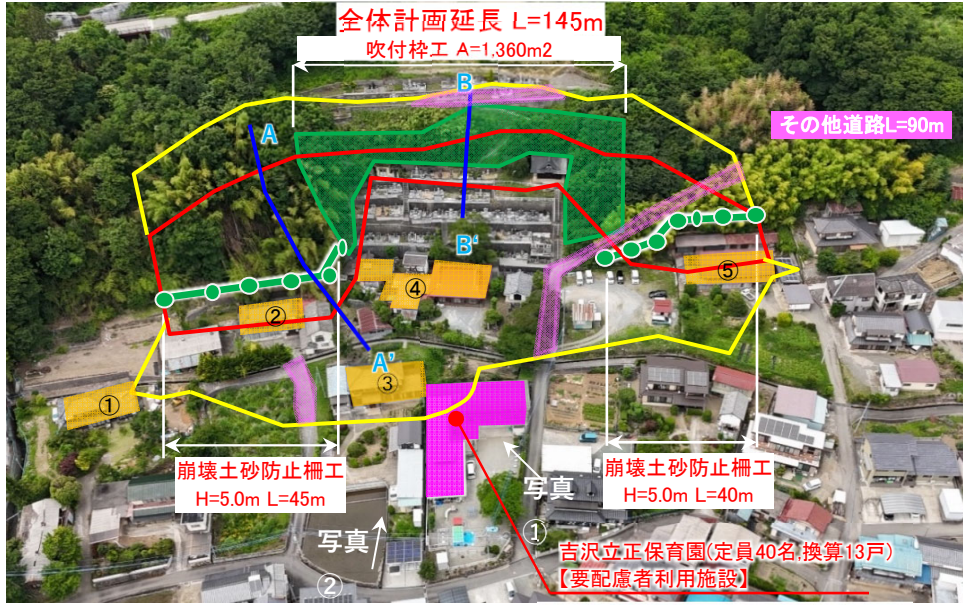


1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	事業箇所	甲斐市吉沢窪田	地区名	窪田-1 (クボタノイチ)	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																										
<p>①課題・背景</p> <p>窪田-1地区は山梨県中央部の甲斐市吉沢窪田に位置する急傾斜地であり、平成22年3月18日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は平均斜面高15m、平均勾配40度の急傾斜地であり、保全対象は人家5戸、吉沢立正保育園、その他道路L=90mがあり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する恐れがあるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○崖崩れ被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害実績：無 ・保全人家戸数：人家5戸、要配慮者施設1施設 換算後合計18戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：無 (保全対象=人家5戸、吉沢立正保育園(要配慮者利用施設 換算13戸)、その他道路L=90m) <p>□副次目標 ー</p> <p>□副次効果 ー</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>190 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R12</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>165 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1366 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>164 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">556 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">353 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">457 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">0 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">8.3</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている</p>				総事業費	190 百万円	工期	R7~R12	基準年	R6	経済効率性	費用	165 百万円	便益	1366 百万円		建設費	164 百万円	一般資産被害	556 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害	353 百万円				人的被害	457 百万円					その他※	0 百万円		B/C			8.3		
総事業費	190 百万円	工期	R7~R12	基準年	R6																																									
経済効率性	費用	165 百万円	便益	1366 百万円																																										
	建設費	164 百万円	一般資産被害	556 百万円																																										
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害	353 百万円																																										
			人的被害	457 百万円																																										
			その他※	0 百万円																																										
B/C			8.3																																											
(2) 整備内容				(4) 事業実施・規模の妥当性																																										
<p>①整備内容 崩壊土砂防止柵工 H=5.0m L=85m、吹付砕工 A=1,360m²</p> <p>②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和12年度</p> <p>④総事業費 約190百万円 (国費:85.5百万円(4.5/10)、県費:85.5百万円(4.5/10)、その他:19.0百万円(1.0/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>測量、地質調査、詳細設計</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>用地測量・調査、用地取得・補償</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>崩壊土砂防止柵工</td> <td>40 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10~11年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>80 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>崩壊土砂防止柵工</td> <td>30 百万円</td> </tr> </table>				令和7年度	測量、地質調査、詳細設計	20 百万円	令和8年度	用地測量・調査、用地取得・補償	20 百万円	令和9年度	崩壊土砂防止柵工	40 百万円	令和10~11年度	吹付砕工	80 百万円	令和12年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円	<p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地元要望に基づいており、甲斐市から受益者負担金の同意は得られている。</p>																											
令和7年度	測量、地質調査、詳細設計	20 百万円																																												
令和8年度	用地測量・調査、用地取得・補償	20 百万円																																												
令和9年度	崩壊土砂防止柵工	40 百万円																																												
令和10~11年度	吹付砕工	80 百万円																																												
令和12年度	崩壊土砂防止柵工	30 百万円																																												
				総合評価																																										
				[貢献度ランク：b]																																										
(4) 事業位置図等																																														
<p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>◎既整備内容・期間・事業費 未整備</p>																																														

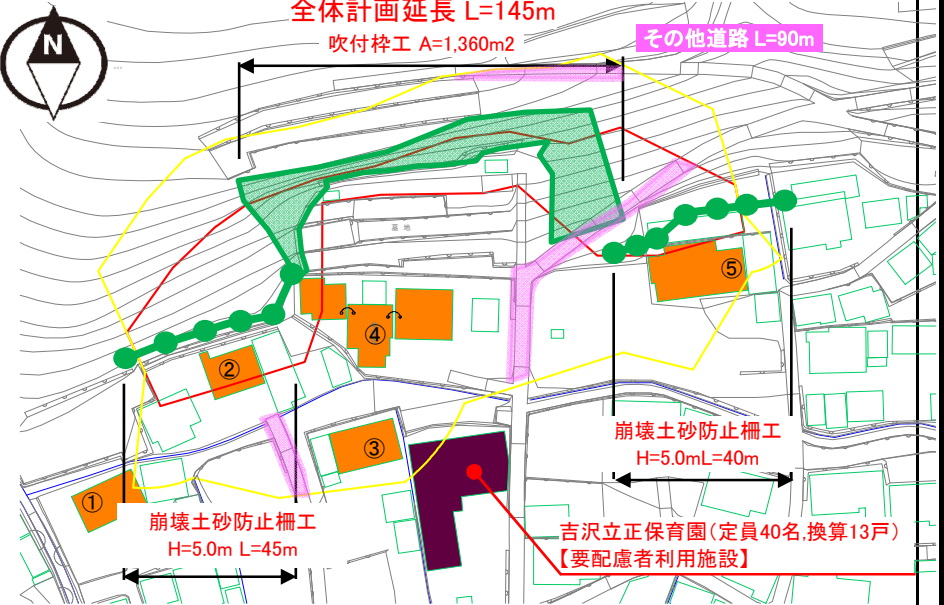
2. 添付資料シート

【斜面鳥観図】

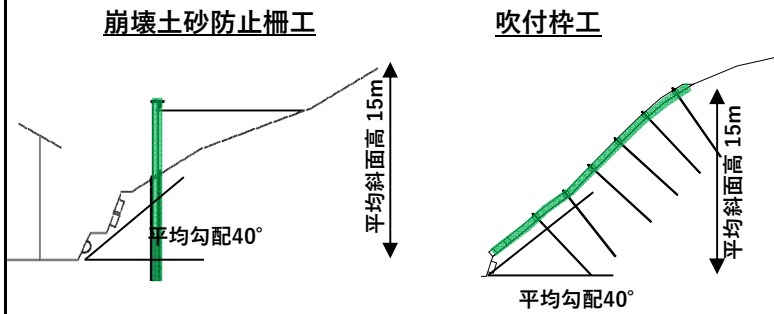


- 計画範囲 ■
- 土砂災害警戒区域 ■
- 土砂災害特別警戒区域 ■
- 保全対象 ■
- 道路 ■

【平面図】



【標準横断面図】



①保全対象
要配慮者施設：吉沢立正保育園



②斜面状況(全景)

